

# 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

## 牛久市

### ●地域における現状・課題

- ・今年度の実証事業では、週1回の地域での活動がどのくらい需要があるかを調査することがポイントであった。実施した種目において、野球及びサッカーは年間を通して10～20人前後の参加者数だった。一方、バレーボールの参加者数は、1桁が続き0人であることさえあった。この原因として実証事業を実施した日に参加者ターゲットの多くが参加している別のバレーボール練習が実施されていたことがあげられる。学校や地域の団体との調整は課題であるといえる。
- ・実証事業では、補助金があることで活動が成り立っているものが多い。しかし補助金は永続的にあるものではないことから、1つ1つのクラブが自走するための方略を調査すること今後の課題であるといえる。

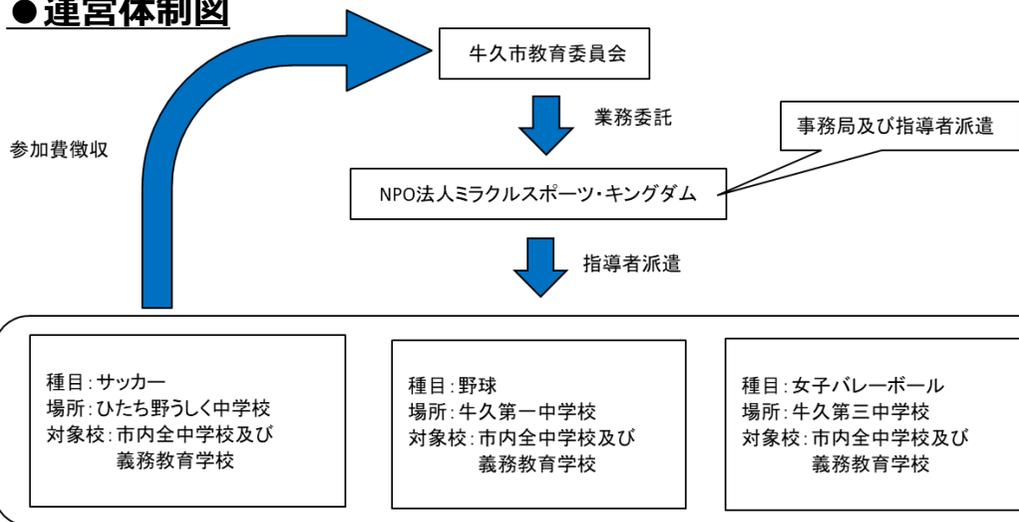
### ●取組事項の概要

- ・月3回実施し、内容は各種目にかかわる活動である。

### ●取組の成果、特に工夫した点等

- ・生徒の希望する活動となるよう指導者に配慮してもらった。年間を通して、参加者の数が大きく減少することはなく、増加する種目もあったことは成果であるといえる。
- ・活動場所については、地域移行の種目と学校部活動が並行して実施していることから、施設の確保ができるかどうか懸念されたが、学校長との事前協議によって年間を通して活動場所を確保することができた。

### ●運営体制図



### ●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：拠点校型
- (2) 運営主体：NPO法人ミラクルスポーツキングダム
- (3) 種目：野球
- (4) 指導者の主な属性：地域の指導者
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：3回
- (6) 主な活動場所：牛久第一中学校
- (7) 主な移動手段：自転車・保護者の送迎
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：12,000円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒800円／指導者1,850円

※都道府県において、地域クラブ運営を実施していない場合には本項目は削除

# 【牛久市】 令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 （運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

本報告書は、スポーツ庁の「令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一環として、茨城県が実施した「令和5年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果を取りまとめたものです。

# 1. 自治体の基本情報

## 基本情報

人口	84,015人	部活動数	60部活
公立中学校数	6校	市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置予定あり
公立中学校生徒数	2291人	市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

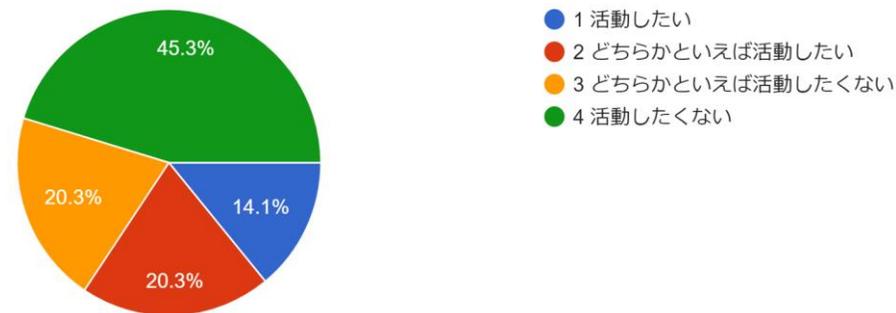
## 地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

今年度の実証事業では、週1回の地域での活動がどのくらい必要があるかを調査することがポイントであった。実施した種目において、野球及びサッカーは年間を通して10～20人前後の参加者数となった。一方、バレーボールの参加者数は、1桁が続き、0人であることさえあった。この原因として実証事業を実施した日に参加者ターゲットの多くが参加しているクラブの練習や学校での部活動が実施されていたことがあげられる。このことから、学校や地域団体との調整は課題であるといえる。

また、実証事業では、補助金があることで活動が成り立っているものが多い。しかし、補助金は永続的にあるものではないことから、1つ1つのクラブが自走するための方略を調査することは今後の課題であるといえよう。

さらに、教員に実施したアンケート結果から、70%以上の教員が休日の部活動に参加したくないと回答している。一方で一部の教員から引き続き部活動に携わりたいとの声があることから、希望する教員は地域の人材としてクラブでの指導に携わってもらえる体制を整備する必要があるといえる。

今後、「休日」の部活動が地域移行された場合に、地域指導者として活動を行いたいですか？  
64件の回答

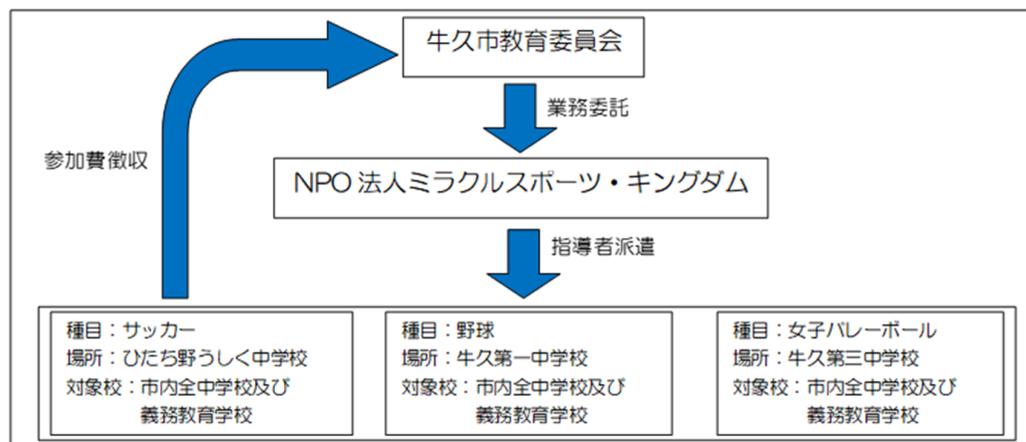


牛久市実施アンケート  
R511月実施

## 2. 実証内容と成果

### 運営体制・役割

#### ▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



#### ▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会（スポーツ推進課）**  
→NPO法人ミラクルスポーツ・キングダムとの業務委託契約  
→参加者や参加費の管理  
→学校との調整
- **首長部局（財政課）**  
→予算措置等事務

### 年間の事業スケジュール

月	実施内容
6月	実証事業開始・月3回活動実施
7月	月3回活動実施
8月	
9月	
10月	月3回活動実施、生徒・保護者・教員アンケート実施
11月	
12月	
1月	月3回活動実施
2月	

R5年6月から実証事業の活動を開始した。月に3回の活動を行い、活動日はすべての種目が日曜日であった。1回の活動時間は片付け等を含めて3時間とした。

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の運営実績

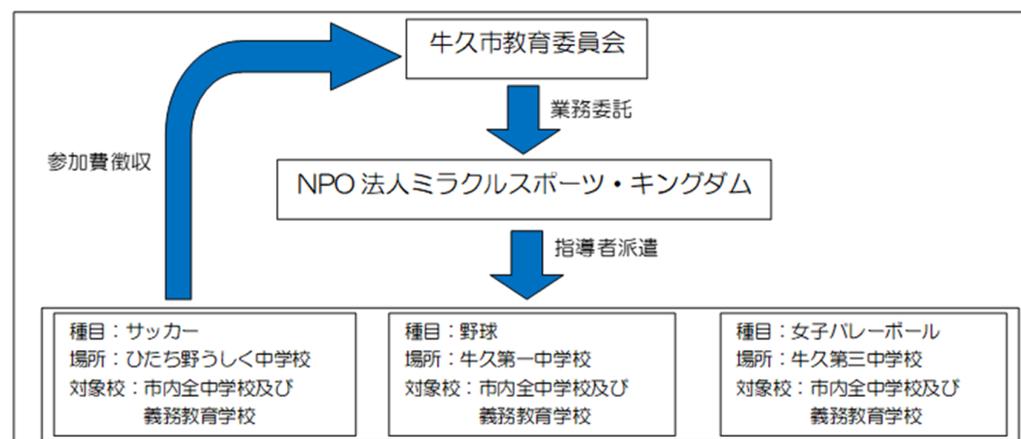
拠点校数	3校	地域クラブ活動に取り組んだ種目	サッカー、野球、女子バレーボール
------	----	-----------------	------------------

### 主な取組例 ※注1

#### ▼活動概要

拠点校名	サッカー：ひたち野うしく中学校 野球：牛久第一中学校 女子バレーボール：牛久第三中学校
地域クラブ活動に移行した部活動数	15部活
地域クラブ活動で実施した種目	女子バレー、サッカー、野球
運営主体名	NPO法人ミラクルスポーツキングダム
運営類型 ※注2	民間スポーツ事業者運営型
1か月あたりの平均的な活動回数	サッカー：月3回程度 野球：月3回程度 女子バレー、月3回程度
指導者の主な属性	スポーツ協会、スポーツ少年団、民間スタッフ
活動場所	市内中学校グラウンド及び体育館
主な移動手段	保護者の送迎や自転車
1人あたりの参加会費等(年額) ※注3	サッカー：12,000円 野球：12,000円 女子バレー：12,000円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

#### ▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組

### 取組内容

#### ▼取組項目名：ア. 関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

##### 取組事項

運営団体・実施主体の運営体制の整備や人材の確保など、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行う。

##### 取組の 成果

地域の指導者を年間を通して派遣することができたため、人材の確保はできるという可能性が示された。

##### 特に 工夫した 事項

教職員にアンケートを実施し、休日の活動に対して、どれだけの人数が指導者として参加したいかを調査した。

##### 今後の 課題と 対応方針

持続可能な運営という観点では課題が見られた。現在は、県からの補助金を用いて運営を成り立たせている部分が多い。しかし、補助金を頼りにしては、持続的な運営とは言えないため、次年度は、自らの資金を用いて持続的に運営するための方略を明らかにすることが必要であると考えられる。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**イ：指導者の質の保証・量の確保**

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

##### 取組事項

指導者に対して、資質向上のための研修の受講や資格取得を促進する。

##### 取組の 成果

実施できなかった。

##### 特に 工夫した 事項

工夫なし。

##### 今後の 課題と 対応方針

地域クラブが中体連主催の大会に出場する場合、競技によっては指導者の資格が必要な場合があるため、今後資格取得の催促等を定期的に行う必要があると考える。また、各競技ごとに必要な資格が大きく異なるため、整理が必要であるとする。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保証・量の確保

**ウ：関係団体・分野との連携強化**

エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：ウ：関係団体・分野との連携強化

##### 取組事項

指導者の派遣、民間施設の利用、監修教材の提供・講師派遣などについて連携する。

##### 取組の成果

指導者の派遣については、運営主体であるNPO法人ミラクルスポーツ・キングダムと連携することで、スポーツに長年関わってきた経験があり、育成年代の指導に対しての知見と意欲を持っている指導者を派遣できるよう取り組んだ。

##### 特に工夫した事項

運営主体であるNPO法人ミラクルスポーツ・キングダムと連携及び指導者からの紹介等を通じて、指導者確保に努めた。

##### 今後の課題と対応方針

生徒が経験できる活動を1つでも増やすことを考えると、今後多くの指導者の確保や活動場所である施設の確保が必要となる。特に指導者は、人数と指導者の質の両方が重要であるため、人材バンクの活用や部活動指導員など様々な制度を利用することや、大学等と連携し講習会を行う必要があると考えられる。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

### オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：オ：内容の充実

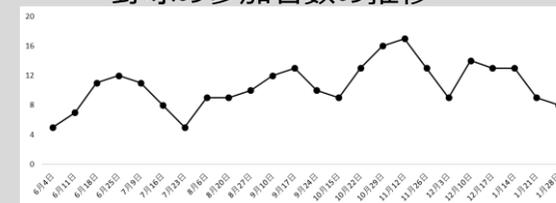
#### 取組事項

生徒の志向や体力等の状況に適したスポーツに親しむ機会の確保に取り組む。

#### 取組の成果

指導者には、生徒がどのような形の活動を望んでいるかを考えて計画を立ててもらうことで、生徒の求める活動が実現できるように実施した。グラフに示すように、6月から実施したモデル事業の参加者数は10月ごろに増加しており、生徒の希望する活動を実施していることから、参加者数が増加した可能性が考えられる。

野球の参加者数の推移



#### 特に工夫した事項

生徒や保護者の声を聞き、それを運営主体であるNPO法人ミラクルスポーツ・キングダムや指導者と共有するよう努めた。

#### 今後の課題と対応方針

R5年11月に実施したアンケートから、学校の部活動にはない種目をやりたいという希望を受けた。次年度は、そのような種目についても参加したい生徒が参加できるような体制を整えていく方針である。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
**カ：参加費用負担の支援等**  
キ：学校施設の活用等  
ク：その他の取組

### 取組内容

#### ▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

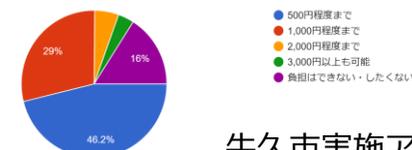
##### 取組事項

会費の適切な設定・徴収方法の検討や、保護者負担経費の調査・検討を行う。

##### 取組の成果

参加者からの会費は市内保護者を対象に実施したアンケートの結果を概観すると、保護者の負担という観点では適当であると考えられる。

仮に、週一回（土日のどちらか1日）地域で文化・...ら、1回あたりいくらくらいを負担できますか？  
169件の回答



牛久市実施アンケート  
R511月実施

##### 特に工夫した事項

アンケートを実施し、ニーズ調査をした。

##### 今後の課題と対応方針

今後、地域クラブが主体となって受け皿となり、活動を持続的に行っていくためには、受益者負担という形で保護者から徴収する会費を増額することが必要であると考えられる。少しでも多くの生徒が参加できる環境と、地域クラブが持続的に活動できるあり方を検討する必要がある。

## 2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備  
イ：指導者の質の保証・量の確保  
ウ：関係団体・分野との連携強化  
エ：面的・広域的な取り組み

オ：内容の充実  
カ：参加費用負担の支援等  
**キ：学校施設の活用等**  
ク：その他の取組



### 取組内容

#### ▼取組項目名：キ：学校施設の活用等

##### 取組事項

学校の施設・設備・備品等を使用する際の利用ルールを策定する。

##### 取組の成果

実証事業は主に日曜日の活動であったため、学校部活動の他種目と活動場所が重複する可能性があった。しかし、学校長と事前協議を行いすべての実証事業該当種目で学校を使用することができたことは本取り組みの成果であるといえる。

##### 特に工夫した事項

学校と密に連絡を取り、場所の確保に努めた。

##### 今後の課題と対応方針

学校部活動の受け皿となる地域クラブの活動が増えると、学校施設を使用するうえで、地域に移行していない学校部活動と重複する部分が増える可能性がある。休日の部活動を地域に移行するという目的を達成するためには、土日の学校部活動の取り組みを廃止することが必要である。そのための受け皿の確保や教員・保護者の理解を得る取り組みが必要となる。

# 2. 実証内容と成果

## 参考資料（アンケート結果、広報物、協議会等で使用した資料の抜粋等）

### 令和5年度 運動部活動の地域移行モデル事業 参加者募集

令和5年度から土、日における運動部活動が地域へ順次移行されることに伴い、  
牛久市ではモデル事業を開催します。

<b>種目:</b>	<b>【サッカー】</b>	<b>【野球】</b>	<b>【女子バレーボール】</b>
<b>場所:</b>	ひたち野うしく中学校グラウンド (雨天時:ひたち野うしく中学校 体育館前広場)	牛久第一中学校グラウンド (雨天時:牛久第一中学校70m十十ド)	牛久第三中学校体育館
<b>対象者:</b>	市内全中学校 義務教育学校の サッカー部員	市内全中学校 義務教育学校の 野球部員	市内全中学校 義務教育学校の 女子バレーボール部員
<b>日時:</b>	6月11日(日)13:00-16:00 18日(日)13:00-16:00 25日(日)13:00-16:00	6月4日(日)13:00-16:00 18日(日)13:00-16:00 25日(日)13:00-16:00 ※7月以降は土曜日開催予定	6月4日(日)13:30-16:30 11日(日)13:30-16:30 25日(日)13:30-16:30
<b>参加費:</b>	月額1,000円(月2~3回程度を予定) ※参加費は毎月、初回参加時に徴収いたします。		
<b>保険代:</b>	<b>無料</b> ※学校での部活動とは別の活動となります。今回のモデル事業につきましては、主催者側にて保険へ加入いたします。		

※新型コロナウイルス感染症拡大の際は、中止になる場合があります。  
※強制参加ではありません。希望者のみの参加となります。

問い合わせ：牛久市教育委員会スポーツ推進課  
TEL 029-873-2111 (内線 3351)

【学校配布用参加者募集チラシ】

シリーズ  
教職員の働き方改革

## 部活動の地域移行に向けて 1

「平日、土曜、祝日の変化により、教育現場に求められる役割が多様化し、学校や教員だけでは解決することができない課題が起きている。とりわけ、少子化が進む中、生徒数の減少に伴い、単独で練習や大会出場のできない運動部活動が地域的にあることや、部活動のない教員の増加も影響している。教員の働き方改革の取組などから、従来と異なる運用体制では部活動の維持が困難になってきており、学校や地域によっては存続の危機に陥っている。」

教員全員の働き方改革

部活動の地域移行に向けて

学校部活動と地域部活動の違い

項目	学校部活動	地域部活動
運営主体	学校	民間のスポーツクラブ、市民団体等
対象	同校の生徒	地域の児童、生徒
参加者	教員、部活動指導員	地域スポーツ指導員、保護者、民間指導員、地域団体の指導員(指導員を希望する教員)
活動日	平日、休日	休日(平日も可)
活動場所	学校、地域の施設、クラブの施設等	民間のスポーツクラブ、市民団体等
活動時間	部活方針・平日2時間程度、休日3時間程度	運営方針に準拠して活動することが多い
運営費	校長室費、保護者会費等	会費会社、地元民団体の収入
保険	日本スポーツ連盟センター(学校で加入済可)	運営主体で、保険に加入
責任	学校	運営主体
参加料	中・高生は無料、小学生は有料	主催者が学校の枠以外から参加料を定めた場合
指導員の報酬等	平日部活動は特別業務手当	運営主体が報酬額を決定
指導員の資格	教員、部活動指導員(指導員資格取得に準ずる)	運営主体が決定
指導員	・生徒の多様なニーズに対応 ・少子化のため、運営体制の維持が困難 ・部活動指導員の不足 ・指導員報酬の未払い ・指導員がいない状況によって部活動が継続できない	・運営体制の確保 ・地域人材の確保 ・平日と休日の能力体制 ・教員数割の割り方 ・大会参加の割り方 ・雨天、悪天、施設の使用の割り方 ・指導員確保の体制の確保

※シリーズ2「教職員の働き方改革(全3回)」はひたち野うしく中学校2月1日に掲載予定です。

【広報うしく掲載文】

## 2. 実証内容と成果

### 参考資料 (活動写真)



【モデル事業野球】



【モデル事業野球】



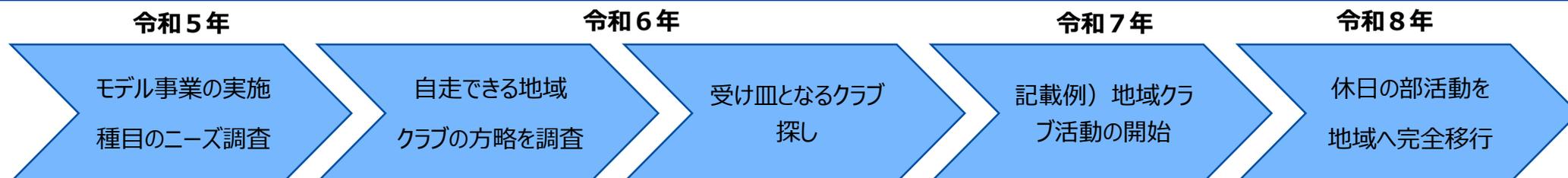
【モデル事業野球】



【モデル事業野球】

## 2. 実証内容と成果

### 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



#### 【令和5年度】

月に3回日曜日に地域移行のモデル事業として、地域の指導者が行う、活動を3種目実施した。年間の参加者数を概観することやアンケートを実施することで、ニーズを把握することを狙いとした。その結果、種目によっては学校部活動の練習時間と被り、参加者が少ないことがあり、学校との連携に課題が見られた。

#### 【令和6年度】

令和6年度については、自走できる地域クラブの方略の調査や受け皿となるクラブ探しとして、地域クラブに指導をお願いする。  
また、令和6年度に関しては、令和5年度に実施したアンケートの結果より、バドミントンをやりたい生徒が非常に多かったので、実施を予定している。

#### 【令和7年度】

令和6年度のモデル事業において、自走できる地域クラブの方略と受け皿となるクラブ探しを実施するが、そこで培われたノウハウ等を他種目の地域クラブに落とし込んでいき、地域クラブを増やしていきたい。

### 3. 今後の方向性

